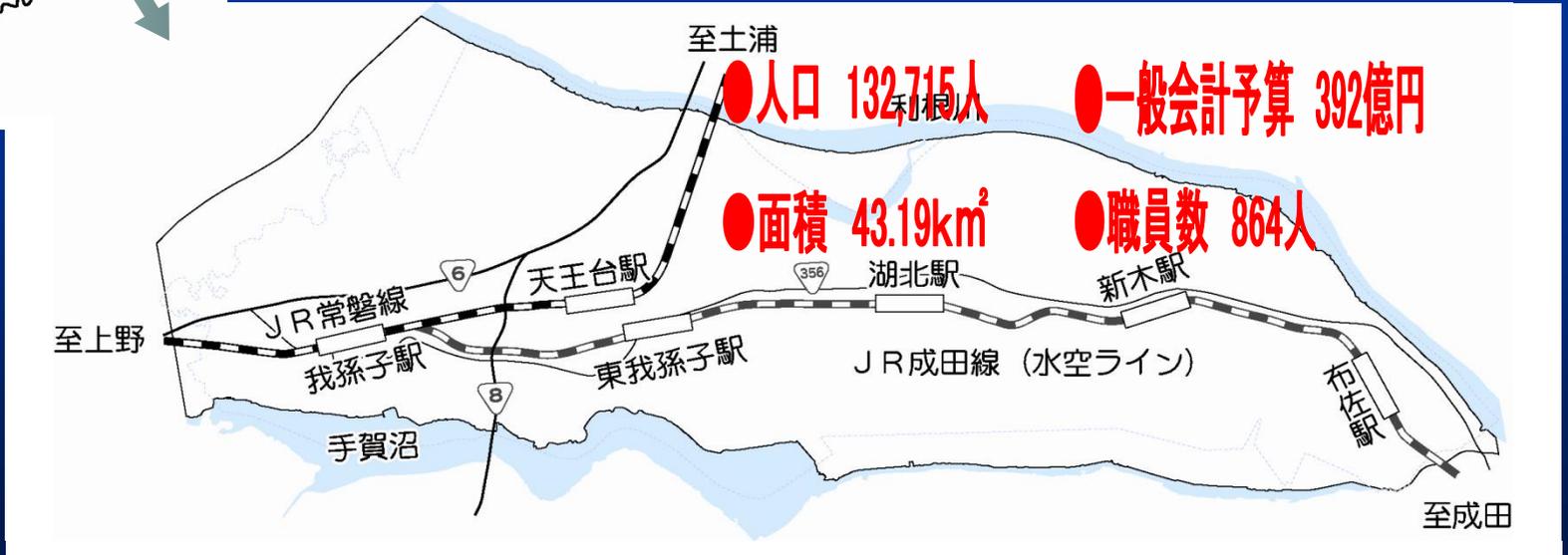


民間の発想で豊かなサービスを

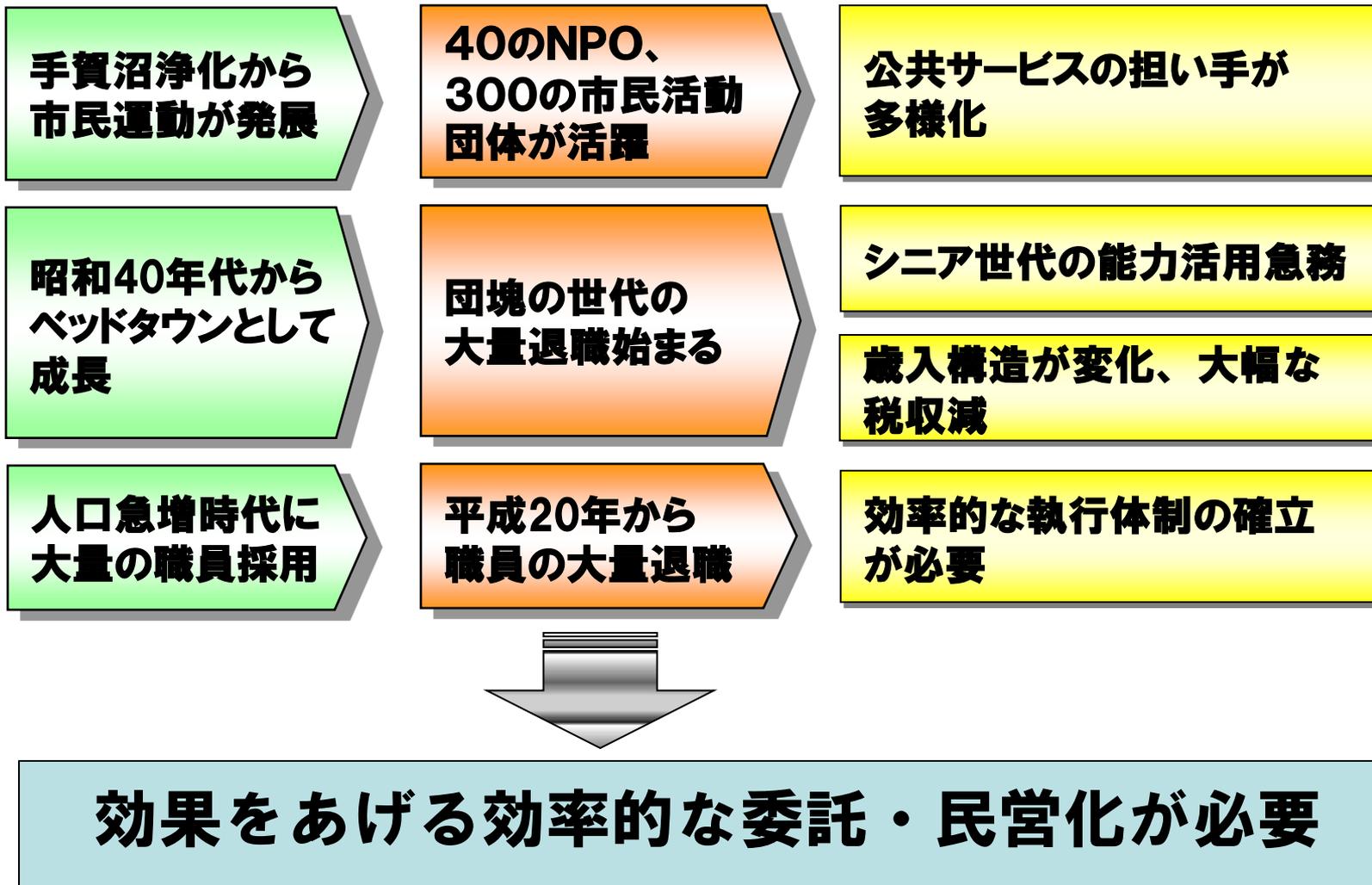


提案型公共サービス 民営化制度





導入当時の状況・制度の背景





平成17年3月、市長が実施を表明

庁内で事業リスト作成、制度設計

平成18年3月、提案募集スタート

平成22年6月、募集を再スタート

その後、毎年募集を実施



行政評価表をもとに市の全事務事業を公表

総務部	74	都市部	93
企画財政部	59	水道局	38
市民生活部	35	消防本部	63
健康福祉部	201	教育総務部	54
子ども部	66	生涯学習部	90
環境経済部	123	行政委員会等	31
建設部	107	合計	1,034

平成28年度分



事業リスト

行政評価表
の事業名

事業概要。行政
評価表をもとに
整理

人件費も含
めた1年間
の事業費

事業費のうち人件費
分。職員1人あたり
9,300千円で算出

個別事業	事業内容	事業費	(内)担当職員人件費
病後児保育事業	病気回復期の児童が集団保育できない状態や保護者の勤務の都合等により家庭における保育が困難な状況にある時、保護者に代わって一時的に保育を実施する。	9,150	1,900

共催の有無	委託の有無	委託・民営化を特に期待する事業	担当部課	分野区分	備考
	○一部委託	★	子ども部 保育課	健康福祉	33104

現在の委託
化の状況

市として特に提案
を期待する事業

総合計画上の
分野区分

総合計画の
施策コード



団体

- ・民間企業、NPO、市民活動団体など、個人を除く全ての団体。

内容

- ・新たな工夫で、サービスの質などの面から市が実施するより市民にプラスになる提案に限る。
- ・事業の一部、複数の事業を集約した提案も可。



提案方法

提案者

1

協議の申し入れ

2

提案者と市で協議

3

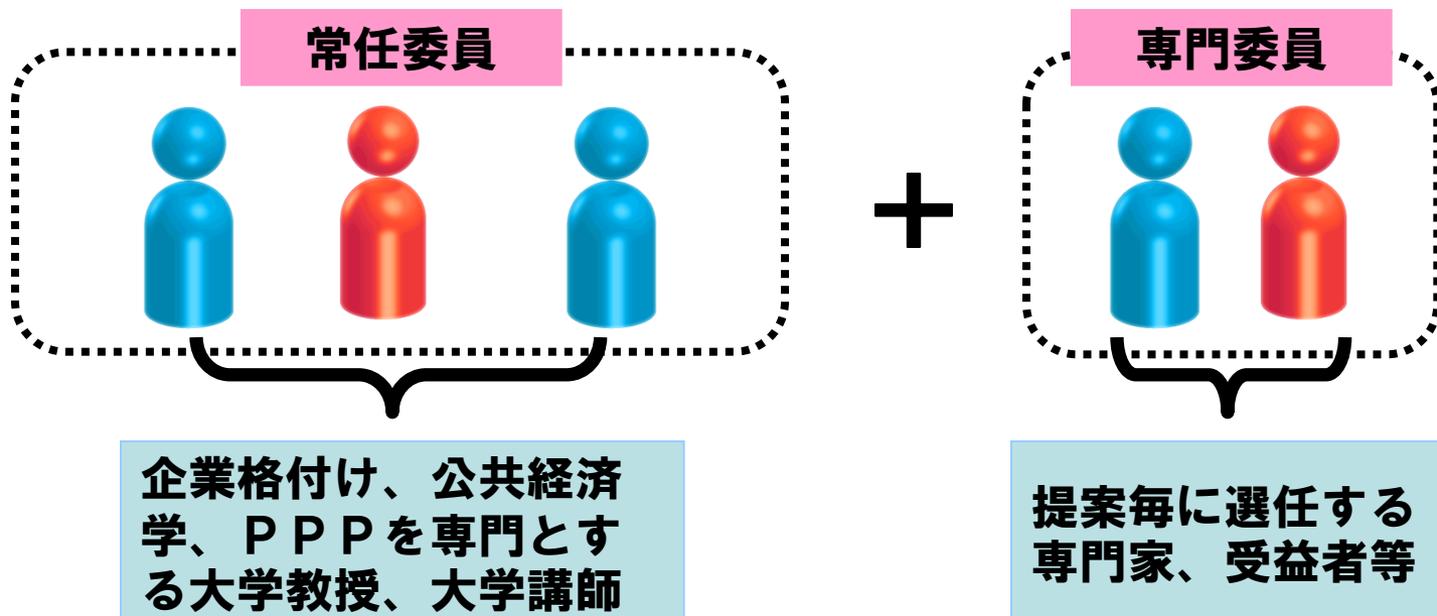
最終的な提案として提出

市(担当課・総務課)



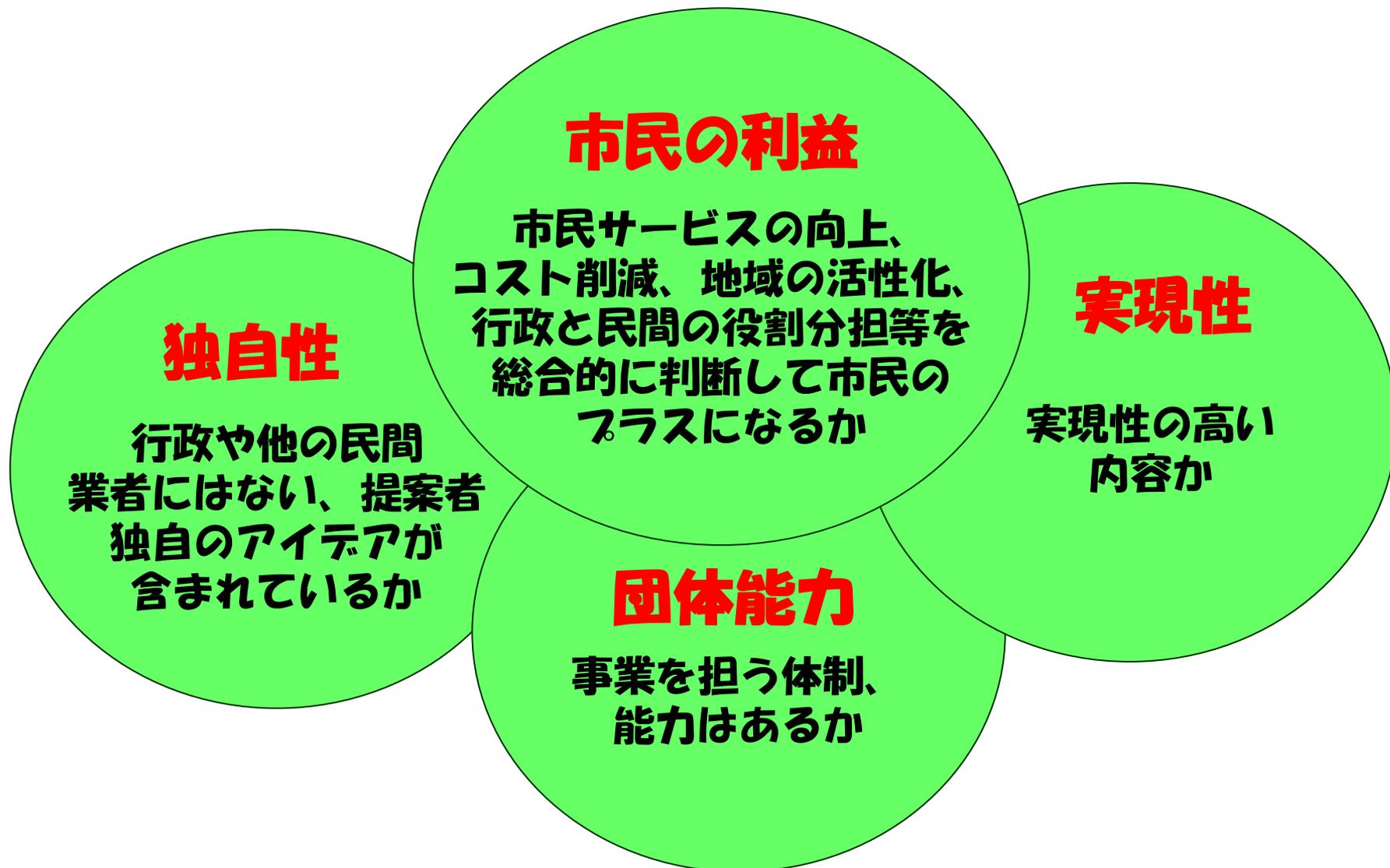
提案の審査

●提案審査委員会の構成



●審査方法

書類審査、提案者と担当課へのヒアリング審査





審査結果の区分

- **採用** .. ①独自性 ②市民の利益 ③実現性
④団体能力を全て満たした提案



随意契約で、提案者が事業者に

- **継続協議** .. 評価基準を全てクリアして
いないが、実施すれば市民
に大きなプラスになる提案

- **不採用**



これまでの実績

■**提案件数** 124件

(79件・6件・15件・8件・6件・3件・6件・1件)

■**審査件数** 103件

■**審査結果** ・採用……………55件

(うち条件付採用32件)

・不採用……………48件

(平成27年度まで)

公共施設の包括管理の提案

・提案者から市各課施設管理担当者へヒアリング

修繕に困っている。修繕計画を作ったことがあるが、壊れてからでないと予算がつかない。予防保全ができていない。

計画的な修繕ができない。設備等はだましだまし使用しているのが現状。施設が老朽化し建替えが必要となるが資金がない。

築35年の建物が多く、改修や修繕が追いつかない。長期的な目線で施設の維持管理を考えたい。



ヒアリング課

- ・保育課
- ・建築住宅課
- ・市民活動支援課
- ・教育、総務課
- ・交通課
- ・鳥の博物館
- ・図書館
- ・市民課
- ・消防本部・署
- ・社会福祉課
- ・健康づくり支援課
- ・子ども支援課
- ・あらかき園
- ・障害者センター



担当課が困っている

・ヒアリングでわかったこと

- ①同様な施設管理業務をそれぞれの課で処理している
- ②修繕したいが壊れてからでないと言算が確保できない
- ③効果的・効率的な修繕計画がほしい
- ④突発的な故障や不具合があると、まずは担当課が現地に行き、判断・対応しなければならない



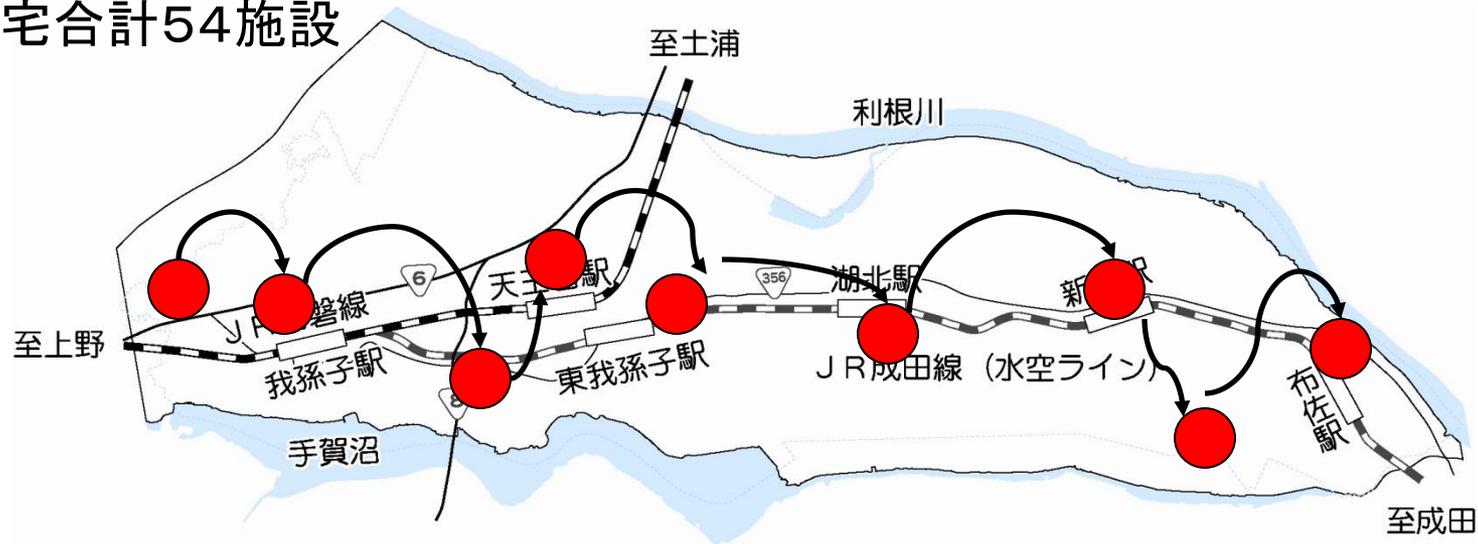
施設対象業務の例(54施設、17業務)

施設名称	消防用設備	防火対象物	自動ドア	電動ステージ	空調設備	浄化槽	給水ポンプ	OMソーラー	自家用電気工作物	プールろ過	エレベーター	エスカレーター	貯水槽	機械警備
行政サービスセンタ	●		●			●							●	●
近隣センター	●	●	●	●	●	●			●		●	●		●
我孫子駅											●	●		
市営住宅	●						●						●	
学校	●				●				●	●			●	●

定期的な施設巡回サービス

■ 対象施設

行政サービスセンター、近隣センター、小学校、中学校、駅、市営住宅合計54施設



- 月に1回の頻度で専門技術者が巡回し、設備を点検
- 巡回時に施設の担当者との面会、要望聞き取り、対応可能な補修等の実施

中短期修繕計画の作成

- 定期点検、定期巡回、年1回の劣化状況点検による劣化状況診断
- 診断結果を基に、今後2～3年間の修繕や更新を抽出し、中短期修繕計画の立案
- 次年度に優先して実施すべき項目をまとめ、予算要求をサポート

インターネットを活用した施設管理情報の共有

- インターネットサーバを利用し、各課の担当者はいつでも施設管理の状況を確認できる
- 各課共通のフォーマットにより、各課ごとに仕様・品質のばらつきを無くした管理の実施



■ 今現在の担当課の声

- ・年度当初の繁忙期に、契約事務が1本化され、事務の簡素化が図れた
- ・H24のホルムアルデヒドによる断水騒動の際は、緊急連絡をもらい、緊急配備対応についての指導・助言をもらった
- ・電話連絡後の対応が早い、対処も早い
- ・保守点検以外も見てくれる(雨どい、建具、ハチの巣等)
- ・月1回の点検報告の中で、現状について詳しく説明してくれるので速やかな対応が図れる
- ・報告書の内容が見やすく、わかりやすい
- ・54施設の中の優先順位が明らかになった



■平成24年度の提案

合計65施設、19業務の包括管理

- ・新規に11施設(保育園、障害者施設等)追加
- ・26施設(学校、市営住宅)に業務を追加
- ・新たな2業務を追加

■現在

合計68施設、29業務の包括管理



- 1 サービス向上とコスト削減を実現**
- 2 事業と団体の新たな結びつき**
- 3 職員の意識改革促す**